

親子や兄弟姉妹など、血のつながりを基本として作られた関係を「血縁関係」と言います。そして、婚姻などによってできた関係を「家族」や「親族」と言います。皆さんは、「血縁関係」と聞いて、「家族」や「親戚」をイメージするのではないのでしょうか。しかし、「血縁関係」はなくても、一緒に暮らしている人がたくさんいます。

家族のかたち

～親子や兄弟姉妹などの
関係を超えて～

例えば、様々な事情により、家族と一緒に暮らすことができない子どもは、児童福祉施設等で生活します。その施設は、家庭のような環境になるよう整備され、「血縁関係」はないものの、大人が子どもの成長を支え、あらゆるサポートをするようになっています。

その児童福祉施設等で生活した経験を持つ女性が、結婚しました。

本来、結婚は、「血縁関係」のある「家族」や「親戚」が集まり祝うものです。しかし、女性には、「家族」や「親戚」がいないため、それらが参列し、祝福することはありません。そこで、女性を支えてきた児童福祉施設等の職員や、高校卒業まで共に生活していた仲間が全国から集まり、結婚式に参列しました。結婚式では、女性を支えてきた多くの方から頂いたメッセージや動画が流され、あたたかな雰囲気につつまれました。

そして、結婚式の最後に女性が読んだ手紙には、「命を授けてもらった人と育ててもらった人は違うけれど、どちらも大切な家族です。今、私が幸せになるのは、ふたつの家族のおかげです。本当にありがとう。」と綴られていました。

私は、彼女の言葉から、「血縁関係」を超えた強いつながりを感じました。

「血縁関係」は大切なことかもしれませんが、しかし、血はつながっていなくても、人ひとりの人生に思いを寄せ、生活を共にし、苦楽を分かち合う時間が長ければ長いほど、「家族」以上の強いつながりが生まれてくるのではないかと考えました。

様々な「家族のかたち」がある今日、周りの人たちと「家族のかたち」について考えてみるのも良いのではないのでしょうか。